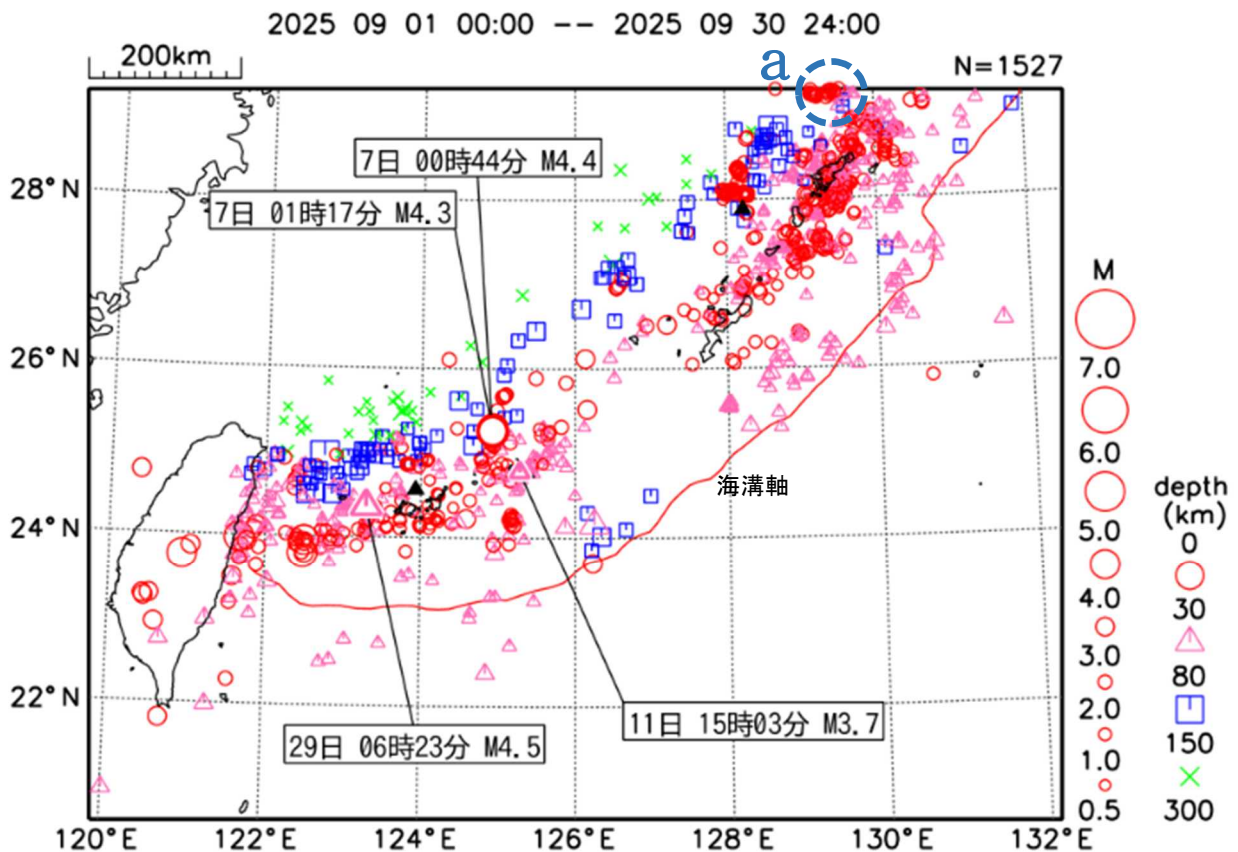


沖縄地方の地震活動

令和7年（2025年）9月

沖縄気象台

図1 沖縄県及びその周辺の震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震の回数 (マグニチュード0.5以上の回数です)
▲ : 活火山

沖縄県内で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

[概 況]

今期間に沖縄県内で震度1以上を観測した地震は4回（8月は5回）でした。

9月の主な活動は次のとおりです。

トカラ列島近海（図中の領域a）では、6月21日から地震活動が活発になっており、7月3日16時13分にはM5.5の地震（最大震度6弱）が発生しました。一連の地震活動は、7月20日頃から低下してきており、規模が大きな地震の回数も減少していますが、活動は継続しています。

図 2 - 1 沖縄本島付近の震央分布図及び断面図

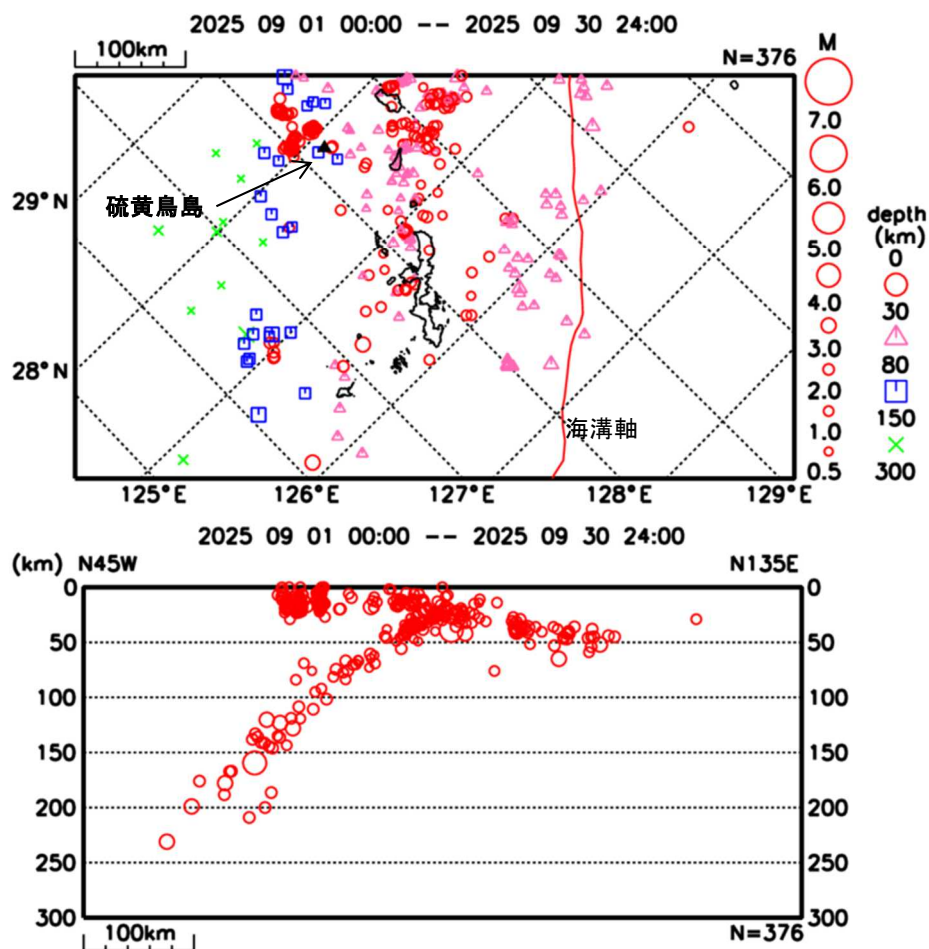


図 2 - 2 宮古・八重山諸島付近の震央分布図及び断面図

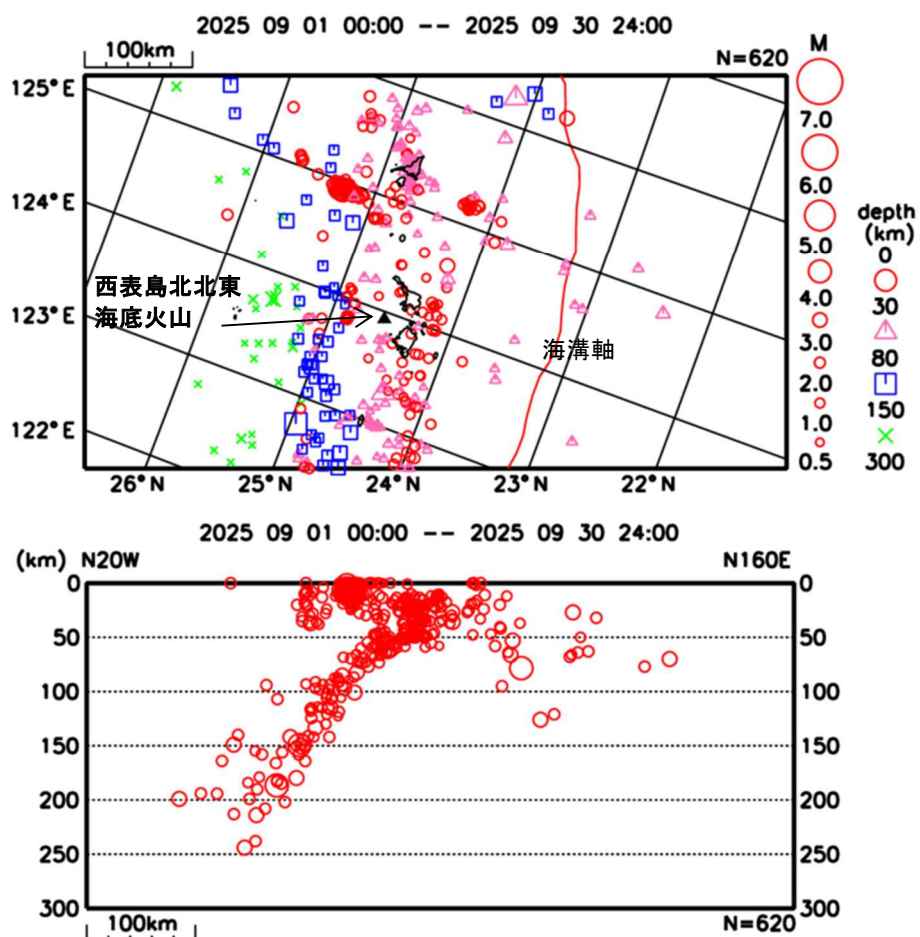
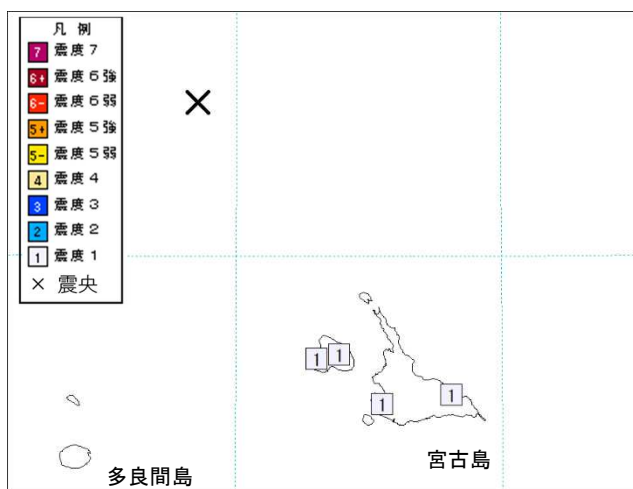
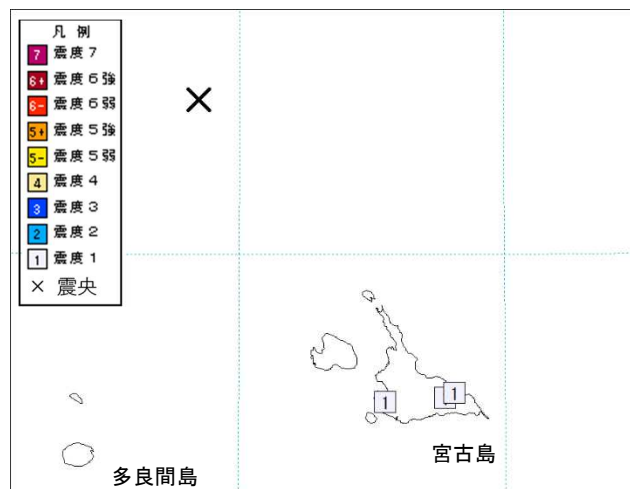


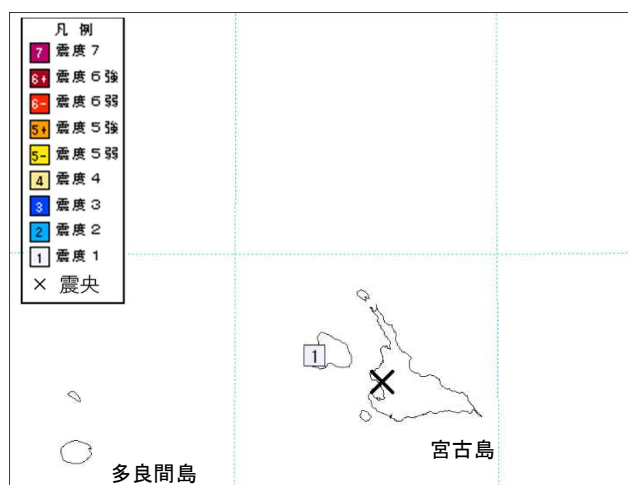
図3 震度分布図



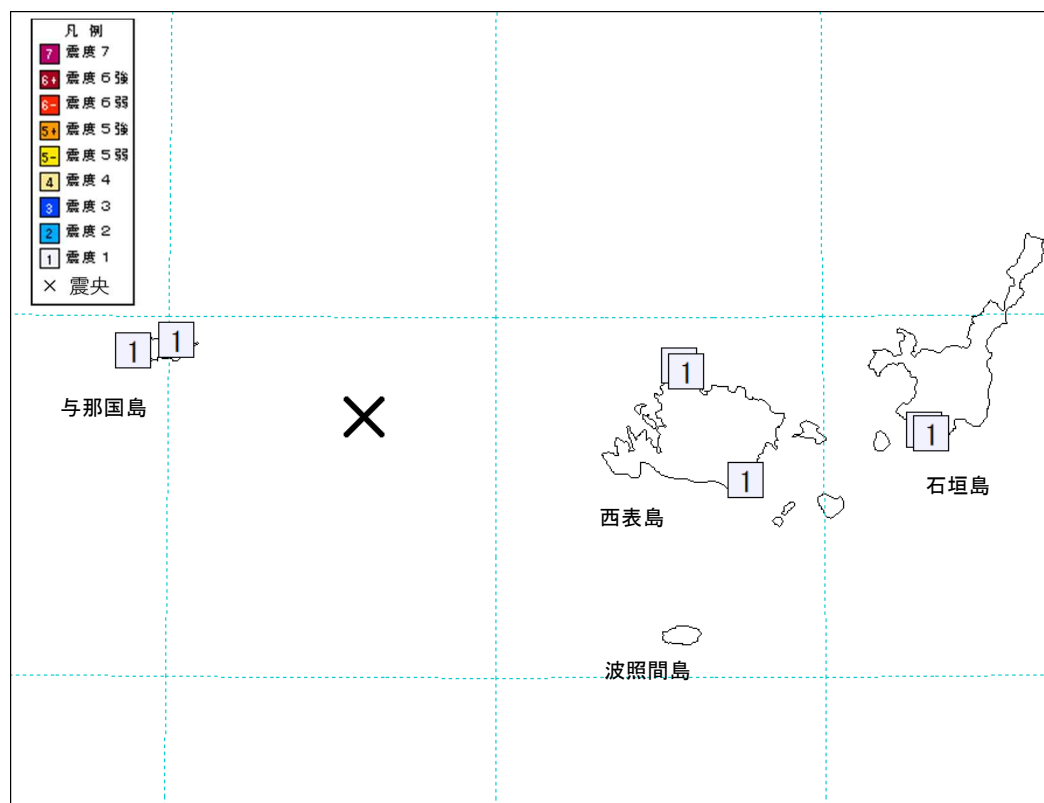
9月7日00時44分 宮古島近海 深さ5 km M4.4



9月7日01時17分 宮古島近海 深さ2 km M4.3



9月11日15時03分 宮古島近海 深さ47km M3.7



9月29日06時23分 与那国島近海 深さ59km M4.5

表 1 沖縄県内で震度 1 以上を観測した地震の表（期間 9 月 1 日～9 月 30 日）

震源時 各地の震度	震 央 地 名	緯 度	経 度	深 さ	規 模
2025年09月07日00時44分 沖縄県	宮古島近海 震度 1：宮古島市城辺福北, 宮古島市伊良部前里添, 宮古島市下地*, 宮古島市下地島空港*	25° 15.8' N	124° 55.5' E	5km	M4.4
2025年09月07日01時17分 沖縄県	宮古島近海 震度 1：宮古島市城辺福北, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市下地*	25° 15.8' N	124° 55.3' E	2km	M4.3
2025年09月11日15時03分 沖縄県	宮古島近海 震度 1：宮古島市下地島空港*	24° 46.8' N	125° 16.7' E	47km	M3.7
2025年09月29日06時23分 沖縄県	与那国島近海 震度 1：石垣市登野城, 石垣市新栄町*, 与那国町祖納, 与那国町久部良, 竹富町大原, 竹富町上原小学校, 竹富町上原青年会館*	24° 21.6' N	123° 17.8' E	59km	M4.5

* の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※沖縄地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

詳細は沖縄気象台ホームページで閲覧できます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>

震度 1 以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」でご覧になれます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

地震・津波・火山に関する防災一口メモ

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/know/memo/sougou.html>

本件に関する問い合わせ先：沖縄気象台地震火山課 098-917-7927

11月5日は津波防災の日、世界津波の日

○平成23年の東日本大震災では、東北地方の太平洋沿岸を襲った津波により多くの人命が失われました。これを受けて、津波から国民の生命を守ることを目的に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、その中で毎年11月5日が「津波防災の日」として決められています。

ちなみに、11月5日は、江戸時代(1854年)に中部地方から九州地方の太平洋沿岸に大きな津波被害をもたらした、「稲むらの火」※のモデルにもなった安政南海地震の発生した日に因んだものです。

地震や津波等の自然災害は、いつ発生しても不思議ではありません。

津波対策の推進に関する法律では、国や地方自治体に津波避難訓練等の実施、津波防災に関連した取組の推進に努めなければならないとしています。国や自治体などで実施される訓練や防災への取り組みへ積極的に参加しましょう。

○「津波防災の日」、「世界津波の日」の取り組みの一環として、 緊急地震速報の訓練を実施します。

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。内閣府、消防庁及び気象庁では、11月5日(水)10時00分頃に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。実際の地震が起きた際に適切な防災対応ができるように、この機会に身を守る行動を体験してみましょう。詳細は下記 URL をご確認ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/eew/kunren/kunren.html>

※稲むらの火とは・・・1854年11月5日(安政南海地震)の津波来襲時に、濱口梧陵は、収穫したばかりの稲を積み重ねた「稲むら」に火を放ちました。この火を目標に、暗闇の中で逃げ遅れていた村人たちを高台へと誘導し、津波から命を守ることができました(何よりも命が大切(ぬちどう宝)ということを教えています)。

・津波「TSUNAMI」は「地震などによって引き起こされる巨大な波」を指す世界共通語です。

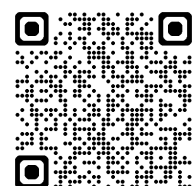


あらかじめ確認しよう！

- ☒ 津波リスクの高い地域
- ☒ 非常用持ち出し品
- ☒ 津波避難施設などの安全な場所
- ☒ 避難ルート など

津波防災特設サイト(内閣府HP)

<https://tsunamibousai.jp/>



地震に関する情報は
沖縄気象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.html>

沖縄気象台

Q 検索

